

生産資材価格形成の仕組みの見直し及び生産者が有利に取引できる流通・加工の業界構造の確立に係る取組に関する

## 検討にあたっての基本的考え方（試案）

平成28年9月29日

金丸 恭文

未来投資会議 構造改革徹底推進会合  
「ローカルアベノミクスの深化」会合  
規制改革推進会議 農業ワーキング・グループ

1. 農業及びその関連産業の国際競争力を強化し、世界に飛躍できるようにすることを目指す。
2. 経済社会情勢の変化により実情に合わなくなったシステムを抜本的に見直し、時代の要請にあった最適なものに改めるべきである。
3. 関連する各種法制度等については、総点検を行うこととし、この秋に結論が出なかったものについては、規制改革推進会議において引き続き検討する。
4. それぞれの業界について、適正な競争が行われる構造となるよう、業界再編を推進すべきである。
5. 業界再編のツールについては、法規制の見直し、産業競争力強化法に規定する手法、独占禁止法の運用などあらゆる手法を活用すべきである。
6. 全農の生産資材の買い方、農産物の売り方を真に農業者のためとなるよう見直すことも業界再編の重要なツールであり、規制改革推進会議における農協改革のフォローアップの一環として取り扱う。特に、全農が農業者のために最大限の機能を発揮できるようにするためには、役職員の意識改革、外部からの人材の活用、組織体制の整備等が必要であり、フォローアップにおいてはこの点を重視する。
7. 改革が後戻りすることなく着実に前進するよう、次期通常国会において必要な法制化を行うことを視野に入れて、検討すべきである。